

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 434

事務事業名	地域情報化推進事業	所管部課	総合政策室	総合政策室		
事業概要	地域情報化推進会議の開催・地域イントラネット設備維持管理・市民向けサービス提供					
事業内容	事業詳細 ・手段	・地域情報化推進会議の運営 ・地域イントラネット(光ファイバー)の維持管理 ・市民向けアプリケーションの運用				
	意 図	地域情報化による市民サービスの向上には、市民参加型の情報化推進体制が必要であり、地域情報化推進会議を運営することで、市民本位の情報化が推進される。また、インターネットを利用した市民向けアプリケーションサービスの展開により、市民から市役所への情報の伝達と、市役所から市民への情報の伝達が迅速化・活発化する。				
	市の関与の あり方	実施主体				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	0	5,223	2,394	22,324	27,826	32,556
内部評価	5-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-B に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	⇒	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
---	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 358

事務事業名	国民健康保険事業の保険給付費		所管部課	市民生活部	市民課	
事業概要	被保険者が医療機関等から受けた療養の給付費等に対する診療報酬等の給付を行う。					
事業内容	事業詳細・手段	被保険者が医療機関等から受けた療養の給付に対する一部負担金を控除した診療報酬及びコルセット作成やはり、きゅう等の療養費の支払。高額療養費の支給、診療報酬審査手数料を支払う。				
	意 図	被保険者が医療機関等から受ける療養の給付やコルセットやはり、きゅう等の療養費、高額療養費を支払うことにより費用負担の軽減を図るとともに健康保持に寄与する。				
	市の関与のあり方	国民健康保険全体では、国民健康保険法により国、県、市がそれぞれ費用を分担する部分もあるが、事業主体は市である。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 2,978,298	H19決算 3,163,105	H20決算 3,128,036	H21予算 3,175,345	H22見込 3,175,345
内部評価	2-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 361

事務事業名	特定健診等事業	所管部課	市民生活部	市民課		
事業概要	40歳から74歳までの被保険者に生活習慣病に着目した健診を行い、結果によりリスクの程度に応じて特定保健指導を行う。					
事業内容	事業詳細・手段	対象者全員に実施する基本項目と医師の判断で実施する詳細項目があり、集団と個別健診の選択方式となっている。				
	意 図	平成20年度から実施された国の定めた事業で、平成24年度には受診率65%、保健指導率45%、糖尿病予備軍の減少率10%という全国の国保保険者に対する共通の目標値が示され、達成度により後期高齢支援金の加算、減算が実施される。				
	市の関与のあり方	実施主体は市である。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	0	0	15,310	27,509	27,509	27,509
内部評価	2-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-A に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 380

事務事業名	ごみ減量化事業			所管部課	市民生活部	環境課
事業概要	市のごみ減量化計画に基づき、行政と事業者及び住民が一体となった各種事業を展開してごみ減量化を目指す。					
事業内容	事業詳細・手段	資源回収報奨金の交付 家庭用生ごみ処理機設置補助金の交付 剪定枝等の分別収集 啓蒙啓発事業の実施				
	意 図	平成19年3月に策定した「ごみ減量化計画」に基づき、各種事業を実施するとともに、排出量の削減・経費の削減及び施設の延命化を図る。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	8,609	7,055	7,536	8,943	8,943	8,943
内部評価	3-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-B に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいのか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
--	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

381

事務事業名	クリーンセンター食物収集運搬業務委託事務費	所管部課	市民生活部	環境課		
事業概要	廃棄物を再利用したりサイクル社会構築に向け、給食残渣の効率的な搬入が行われるように、民間業者に業務を委託する。					
事業内容	事業詳細・手段	給食残渣の収集運搬業務を民間業者に委託する。 発酵肥料「すくすく君」の運搬業務を民間業者に委託する。 発酵肥料「すくすく君」を市民に無料配布。				
	意 図	小山広域の構成市町として事業を実施する。し尿、浄化槽等汚泥の最終処分経費の増により、生ごみとし尿・浄化槽汚泥・農集排汚泥を主原料として、肥料製造に必要な南河内・国分寺地区の学校給食等の食品残渣を小山広域クリーンセンターに搬入し、廃棄物の有効活用を図る。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	8,127	8,794	8,937	8,482	8,482	8,482
内部評価	3-C'					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C' に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	⇒	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
---	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 393

事務事業名	交通指導員配置事業		所管部課	市民生活部	生活安全課		
事業概要	交通指導員活動及び運営						
事業内容	事業詳細 ・手段	・交通指導員報酬及び活動に伴う消耗品購入及び保険料 ・各種団体負担金					
	意 図	交通指導員活動及び運営					
	市の関与の あり方	市が事業主体となる					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
		20,507	20,644	20,518	20,280	20,280	20,280
内部評価	2-B						

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 404

事務事業名	消防自動車購入事業			所管部課	市民生活部	生活安全課
事業概要	老朽化した消防ポンプ自動車を更新するための経費					
事業内容	事業詳細・手段	消防ポンプ自動車等購入				
	意 図	購入から長期間経過し老朽化してきたポンプ自動車等を、災害時に迅速に対応できるよう最新設備を搭載したポンプ自動車に更新計画に基づき順次更新し、消防力の強化を進める。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	0	47,267	11,575	41,558	27,705	13,853
内部評価	1-C					

行政評価第三者評価

市の内部評価、1-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 239

事務事業名	がん対策事業		所管部課	健康福祉部	健康増進課	
事業概要	胃・肺・大腸・前立腺・乳房・子宮がん検診を集団検診と個別検診の選択で実施。					
事業内容	事業詳細・手段	年齢該当者に通知と広報により、集団検診(胃・肺・乳)と個別検診(大腸・前立腺・子宮)により実施。胃・肺・大腸・乳がんは40歳以上、前立腺は50歳以上の男性、子宮がんは20歳以上の女性が対象である。				
	意 図	各種がん検診を実施し、がんの早期発見と治療を目指す。 集団検診は、検診機関に委託。 個別検診は、医師会に委託する。				
	市の関与のあり方	事業主体である。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	44,869	49,147	45,657	48,920	48,920	48,920
内部評価	2-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-A に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	➡	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
---	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 245

事務事業名	予防接種事業	所管部課	健康福祉部	健康増進課		
事業概要	予防接種法による定期の接種(乳幼児予防接種、高齢者インフルエンザ)					
事業内容	事業詳細 ・手段	・乳幼児: 集団接種はポリオ 個別接種は、三種混合、二種混合、MR、BCG、日本脳炎 ・65歳以上: 高齢者インフルエンザ				
	意 図	予防接種法に定められた定期の予防接種を実施することで、結核や麻疹、風疹、小児麻痺等の感染症の蔓延を防止し、病気の発病、重症化の予防を図る。				
	市の関与の あり方	事業実施主体 予防接種業務は医療行為であるため、医師会に委託する。				
	事業費 (単位: 千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	54,190	55,949	67,520	73,509	73,809	74,109
内部評価	2-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-A に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	⇒	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
---	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 257

事務事業名	病後児保育事業		所管部課	健康福祉部	児童福祉課		
事業概要	幼稚園・保育園等に通園中の児童が病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を保護者に代わって一時的に預かる						
事業内容	事業詳細・手段	幼稚園、保育園等に通園中の児童に対し、受託事業者が子育て支援のために、病後児の預かりをする。					
	意 図	女性の社会進出に伴い、少子化が問題化される中で、この事業は、子育て支援と就労支援が図られ、育児への悩みを大きく軽減できる。					
	市の関与のあり方	市が認めた事業者に委託し、国や市の要綱に沿って事業を実施してもらう。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
		4,800	5,553	6,590	9,000	9,000	9,000
内部評価	3-C'						

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C' に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいのか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	⇒	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
--	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 299

事務事業名	相談支援事業	所管部課	健康福祉部	社会福祉課		
事業概要	障害者や障害児の保護者又は障害者等の介護を行う方などからの相談に応じ、必要な情報の提供や援助を行う。					
事業内容	事業詳細・手段	障害者や障害児の保護者又は障害者等の介護を行う方などからの相談に応じ、必要な情報の提供や援助を行う。				
	意 図	この事業を行うことにより、障害者等が必要とする情報の提供や援助が促進され、自立した日常生活や社会生活支援が図れる。				
	市の関与のあり方	市が実施主体となって、下野市地域生活支援事業実施要綱に基づき、指定委託事業者が相談支援サービスを行う。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	2,626	3,474	3,472	8,392	8,500	8,500
内部評価	3-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-A に対して評価する。

<p style="text-align: center;">評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	⇒	<p style="text-align: center;">評 価</p> <p>妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
---	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 318

事務事業名	シルバー人材センター運営費補助事業			所管部課	健康福祉部	高齢福祉課
事業概要	シルバー人材センターに対し、運営費補助金を交付する。					
事業内容	事業詳細・手段	市は、社団法人下野市シルバー人材センターに補助金を交付し、センターが補助金他、収益金等をもって、組織の適正な管理運営を行う。 市は、支出他、決算状況を確認し、適正な運営を指導する。				
	意 図	社団法人下野市シルバー人材センターにおいては、補助金をもって、健全な組織運営を図るものであり、高齢者の雇用が確保され、高齢者の生きがいと健康が確保され、介護保険料の増加が抑制されるものである。				
	市の関与のあり方	この事業の実施主体は社団法人下野市シルバー人材センターであり、市においては補助金を交付することにより、団体の育成強化を図るものである。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	18,220	18,000	16,780	16,304	13,472	11,560
内部評価	5-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 355

事務事業名	特定疾患患者福祉手当給付事業			所管部課	健康福祉部	社会福祉課
事業概要	特定疾患患者に対し、特定疾患患者福祉手当(月額2,500円)を支給する					
事業内容	事業詳細・手段	特定疾患患者に対し、経済的負担を軽減する為に月額2,500円を、年2回(3月、9月)支給する。				
	意 図	この事業を行うことにより、福祉の増進を図ることができる。				
	市の関与のあり方	市が実施主体となって、下野市特定疾患患者福祉手当支給条例に基づき、特定疾患患者に対し特定疾患患者福祉手当を支給する。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	9,592	9,305	8,732	9,900	9,900	9,900
内部評価	2-C					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

		事務事業番号	123				
事務事業名	環境保全型農業推進事業	所管部課	経済建設部	農政課			
事業概要	環境保全型農業の導入に取り組む農業生産者等への支援						
事業内容	事業詳細・手段	リンクTチャレンジ支援事業(継続)、有機JAS法取組支援事業(継続)、フェロモン剤利用促進支援事業(継続)、畑地帯環境整備支援事業(継続)、有機JAS法取得支援事業(新規)、土壌診断推進事業(新規)					
	意 図	農業の持つ物質循環機能を活かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通して化学肥料、農薬の使用などによる環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業の推進を図る。					
	市の関与のあり方	他の事業主体の支援					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
	1,750	1,012	1,858	6,450	6,450	6,450	
内部評価	5-C						

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 137

事務事業名	県営ほ場整備事業(武名瀬川地区)		所管部課	経済建設部	農政課	
事業概要	営体(担い手)を育成し、地域農業の中心的な役割を担えるよう、区画整理や水路、農道等の生産基盤の整備を行う。					
事業内容	事業詳細・手段	県営ほ場整備事業の負担金として				
	意 図	育成した経営体が整備された生産基盤により、集約的な農業を展開しつつ、優良農地を将来にわたり適切に維持、保全することで食料自給率の向上、農業の多面的機能の発揮に資することを目的とする。				
	市の関与のあり方	事業主体は県である。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	0	0	2,275	5,444	10,000	20,000
内部評価	4-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-B に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	⇒	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
---	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 148

事務事業名	商工業振興事業		所管部課	経済建設部	商工観光課		
事業概要	商工業者支援のための組織への支援						
事業内容	事業詳細・手段	商工業者支援のための組織である3商工会(南河内、石橋、国分寺)への運営補助					
	意 図	商工会が地域経済団体として、商工業者支援のための事業充実・強化を図るために補助を行う。					
	市の関与のあり方	他の事業主体への支援 市内3商工会への補助					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
	26,841	26,841	24,744	26,841	26,841	26,841	
内部評価	5-B						

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 177

事務事業名	下古山土地区画整理事業			所管部課	経済建設部	区画整理課	
事業概要	土地区画整理事業						
事業内容	事業詳細 ・手段	道路・公園を整備する。 移転の必要な家屋や工作物の移転補償を行う。					
	意 図	下古山土地区画整理事業の進捗率は、約99%となっており、概ね事業が終了している。 事業を早期に完了させ、換地処分を行うことが、地権者の利益につながる。					
	市の関与の あり方	事業主体は市である。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
	76,332	86,646	83,354	93,954	59,677	70,099	
内部評価	4-B						

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 196

事務事業名	市道石2-17・2006・2007号線整備事業			所管部課	経済建設部	建設課	
事業概要	(国庫)道路改良事業						
事業内容	事業詳細 ・手段	路線測量・調査・実施設計・交差点設計等一式を実施する。 用地買収・物件移転の補償 道路拡幅工事					
	意 図	・石橋町幹線道路網整備計画を基本に地域住民が快適に過ごせる生活道路の整備と通学児童及び地域住民の交通安全施設として歩道の整備を行う。 ・市道2-17号線の信号待ちによる交通渋滞を解消するため。					
	市の関与の あり方	市が事業主体となる。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
		13,683	26,314	22,030	92,668	51,000	85,000
内部評価	4-A						

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 200

事務事業名	市道国2-13号線整備事業		所管部課	経済建設部	建設課		
事業概要	(国庫)道路改良事業						
事業内容	事業詳細 ・手段	路線・用地測量設計・用地買収契約済み 現道拡幅歩道整備工事の実施					
	意 図	国分寺小・中学校の通学路に指定されている道路で交通量が多く危険なため歩道整備(補助事業)を実施する。また、歩道整備と併せて車道整備(単独事業)も実施する					
	市の関与の あり方	市が事業主体となる。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
	92,494	93,446	85,839	40,000	30,000	0	
内部評価	4-A						

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 212

事務事業名	まちづくり交付金事業(下長田地区)			所管部課	経済建設部	建設課
事業概要	(国庫)まちづくり交付金事業					
事業内容	事業詳細 ・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・測量、調査、設計を実施する。 ・用地買収、物件移転補償。 ・道路拡幅工事、バイパス工事。 ・関連事業として、水道敷設換え(水道課へ負担金)工事、及び防犯灯の設置工事を実施する。 				
	意 図	下長田地区は、基盤整備が未整備であるにもかかわらず、近隣市町への抜け道として交通量が多く、また、幅員狭小で雨水排水施設も乏しい状態である。地区全体の整備を目的とした、まちづくり交付金事業により、幹線道路3本の整備、及び関連事業である水道管敷設換え(石綿管の撤去)を実施する。また、同地区の下水道事業とも調整を図りながら進めていく必要がある。				
	市の関与の あり方	市道整備のため、道路管理者である市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	0	0	0	70,400	70,000	415,800
内部評価	4-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 214

事務事業名	市道国1-7号線(笹原)整備事業			所管部課	経済建設部	建設課
事業概要	(国庫)道路改良事業					
事業内容	事業詳細 ・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・測量、調査、設計の実施 ・用地買収、物件移転補償 ・現道拡幅工事の実施 				
	意 図	本道路は、自治医大病院への通勤や通院のため、朝夕を中心に交通量が多いにも関わらず、道路幅員が6mと狭いため、非常に危険な状況である。 国道4号から県で整備計画のある都市計画道路(小金井西通り)に接続し、通学道路にも指定してある市道国2-13号線までを整備することにより、住民の安全と広域的な基幹道路網整備に寄与する。				
	市の関与の あり方	市道整備のため、道路管理者である市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	0	0	892	10,500	60,000	100,000
内部評価	4-C'					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-C' に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 409

事務事業名	配水管布設(区画整理)事業			所管部課	上下水道部	水道課
事業概要	仁良川土地区画整理地内の配水管(L=32,500m)を整備する。					
事業内容	事業詳細・手段	仁良川土地区画整理地内を対象に安全で安定的な給水を行うために新たな区画街路に铸铁管を布設する。				
	意 図	区画整理事業により整備された用地に、配水管の管網を整備することにより安定供給が図れる。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 38,348	H19決算 42,369	H20決算 55,000	H21予算 55,000	H22見込 55,000
内部評価	4-D					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-D に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 416

事務事業名	農業集落排水維持管理事業			所管部課	上下水道部	下水道課
事業概要	農業集落排水維持管理					
事業内容	事業詳細・手段	農業集落排水区域を対象に市民のより良い生活環境を確保するための農業集落排水施設を常に良好な状態に維持管理する。				
	意 図	農業集落排水処理のために設置された施設の維持管理をとおして、市民の快適な生活環境の維持を図るため。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 87,723	H19決算 87,992	H20決算 90,453	H21予算 105,400	H22見込 105,400
内部評価	3-C'					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C' に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 419

事務事業名	特定環境保全公共下水道事業			所管部課	上下水道部	下水道課
事業概要	特定環境保全公共下水道区域に下水道管を布設する。					
事業内容	事業詳細・手段	特定環境保全公共下水道区域を対象に下水道管渠等を整備し、下水道利用可能にして、未供用地区の解消を図る。				
	意 図	計画区域の下水処理を行い、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。				
	市の関与のあり方	市が事業主体				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 215,600	H19決算 270,000	H20決算 121,000	H21予算 57,200	H22見込 210,000
内部評価	3-D					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-D に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 21

事務事業名	下野教育研究研修事業		所管部課	教育委員会	学校教育課		
事業概要	教育に関する研究調査、教育相談事業・教職員研修会						
事業内容	事業詳細 ・手段	教職員研修会の実施、教育相談事業の実施、社会科副読本編集、学力検査					
	意 図	教育活動に関する研究調査及び教育関係職員の研修を行い学校教育全般の向上を図る。 相談員等の配置により、特別な支援を要する児童生徒にきめ細やかな対応を図る。					
	市の関与の あり方	市が事業主体					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込	H22見込
		18,422	14,358	15,909	13,356	12,726	12,726
内部評価	3-C						

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 23

事務事業名	児童生徒英語活動事業	所管部課	教育委員会	学校教育課		
事業概要	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る					
事業内容	事業詳細・手段	外国語指導助手(ALT)及び日本人英語指導助手を配置 小中学校における外国語授業の補助 教員研修の補助 拠点校における調査研究を市内各小中学校に発信する。				
	意 図	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、指導助手を配置する。 教員の指導力向上に向け、研修を充実させる。 新学習指導要領の完全実施により授業時数の増加に対応できる校内体制を構築する。				
	市の関与のあり方	市が事業主体				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	20,000	20,000	23,271	24,870	25,000	25,000
内部評価	3-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 37

事務事業名	吉田東小学校校舎改修事業			所管部課	教育委員会	教育総務課
事業概要	校舎耐震補強及び大規模改修工事					
事業内容	事業詳細 ・手段	耐震補強工事の実施 大規模改修工事				
	意 図	耐震診断の結果、耐震補強が必要。また、築40年近くが経過し施設の老朽化が著しいため、大規模な改修を行い教育環境を整備する。				
	市の関与の あり方	市が実施				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 0	H19決算 0	H20決算 1,323	H21予算 31,900	H22見込 100,037
内部評価	4-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。) 上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 49

事務事業名	石橋図書館管理運営事業			所管部課	教育委員会	生涯学習課
事業概要	石橋図書館管理運営					
事業内容	事業詳細・手段	図書館資料の充実と保存、視聴覚資料の整備 レファレンス業務と端末開放による情報提供 図書等の広域利用の実施 図書館講座、読書会、映画会の開催				
	意 図	地域住民の生涯学習の拠点として、市民の学習要求や日常生活に役立つ図書資料の充実を図り、市民の読書意欲に応えると共に各種情報の提供を行い地域文化の発展に寄与することを目的とする。				
	市の関与のあり方	市が事業主体で石橋図書館が管理運営を行っている。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	17,871	32,310	43,374	33,809	33,809	33,809
内部評価	5-C'					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-C' に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 70

事務事業名	スポーツ振興事業	所管部課	教育委員会	スポーツ振興課		
事業概要	スポーツ教室等の開催によるスポーツに関わる機会の提供及び各種スポーツ団体の財政支援のための補助金支出					
事業内容	事業詳細・手段	スポーツ教室や講習会の開催によりスポーツに関わる機会を提供する。各種スポーツ団体への財政支援を通じ専門種目の競技力向上と各団体の自主運営の推進を図る。全国大会等への参加者に対し出場経費の一部助成によりスポーツ活動への支援を行う。				
	意 図	スポーツ教室や講習会の開催を通じスポーツ未経験者や興味の有る者への関心を高めスポーツを楽しむ機会を提供する。スポーツ団体への財政支援を通じ専門種目実践者の活動支援を行い専門種目の競技力の向上を図る。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となり行う事業と財政支援を受けた体育協会等のスポーツ団体が主体となり行う事業とによりスポーツを推進する。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20決算	H21予算	H22見込
	10,956	9,494	8,386	8,725	9,000	9,000
内部評価	5-D					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-D に対して評価する。

<p>評価の視点</p> <p>必要性 ・市民ニーズは大きいのか。 ・行政で実施するのが妥当か。</p> <p>緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。</p> <p>効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。</p>	⇒	<p>評 価</p> <p>妥当である。</p> <p>おおむね妥当である。</p> <p>やや妥当でない。</p> <p>妥当でない。(問題がある。)</p> <p>上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。</p>
--	---	---

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。

平成21年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 96

事務事業名	史跡下野国分寺跡整備事業			所管部課	教育委員会	文化課
事業概要	国指定史跡下野国分寺跡の遺構整備事業					
事業内容	事業詳細・手段	遺跡遺構の復元整備工事及び史跡としての案内看板等の設置工事				
	意 図	整備することにより、遺構が保護されるとともに、文化財の歴史的価値をつぶさに理解できるようになる。				
	市の関与のあり方	国指定史跡の保存・教育的活用は自治体の責務であり、歴史的遺産を破壊・風化させることは文化財保護法に抵触する。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 56,832	H19決算 24,318	H20決算 24,240	H21予算 32,672	H22見込 40,000
内部評価	5-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 やや妥当でない。 妥当でない。(問題がある。)
	上記4つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの評価の視点から第三者評価を実施してください。